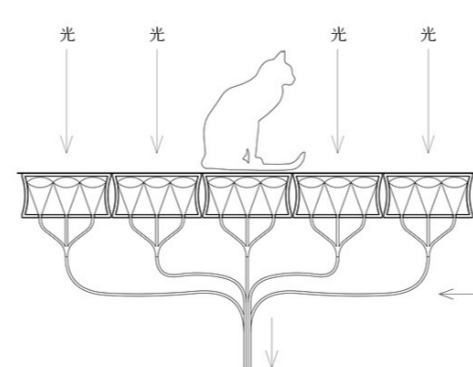


光の通り道

ガラスでつながる街の光

近隣コミュニティの生活の光と、緑地帯の街灯の光を、ガラスによって生き物のように有機的につなげてみようという提案です。近隣住宅の床には、集光レンズが組み込まれたガラスブロックが使用されています。それぞれに集められた光は、地下に埋設されたシリカガラスの光ファイバーを通して、緑地帯の街灯の光として利用されます。街灯のライトもガラス光ファイバーによってつくられています。近くを人が歩いたり、風によって光がゆれます。フワフワと動く光は誰かの生活の光でもあります。その光の"ゆらぎ"は、誰かが部屋の電灯を明るくしたり暗くしたり、テレビをつけたり消したり、床に寝ころがったことでできた影によってつくられているかもしれません。透明なガラスの持つ不思議な"つなげる"性質を利用して、人々が光を通して無意識につながっていきます。

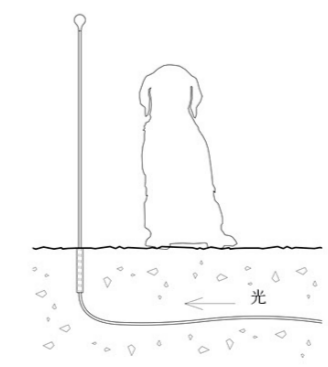
近隣との有機的なつながり



近隣住宅の床には集光レンズが組み込まれたガラスブロックが使用されています。生活において発生した光は集光、吸収されて、ガラス光ファイバーを通して転送されます。

集光レンズが内部に組み込まれたガラスブロック
ガラス光ファイバーに生活で発生した光を集光

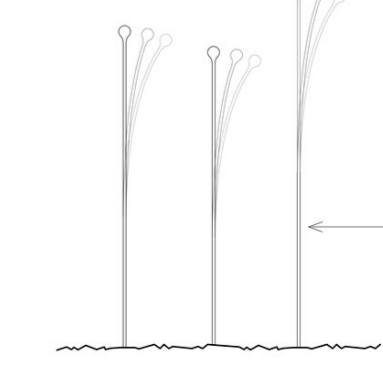
ガラスのできた街灯のライト



近隣から集められた光は、地下に埋設されたガラス光ファイバーによって、緑地帯を照らす街灯の照明として利用されます。街灯のライトもガラス光ファイバーによってつくられています。

ガラスのディフューザーによって光を拡散
ガラス光ファイバー+透明シリコン被覆

光のゆらぎをつくるガラス



ガラス光ファイバーでつくられたライトは近くを人が歩いたり、風を受けて動きます。また、光のゆらぎは光源である近隣コミュニティの生活の光の変化によってつくられます。

ガラス光ファイバーのライトは風を受けて常に動いています